

利根町過疎地域持続的発展計画 令和3年度 数値目標実績報告

1 基本的な事項

(5) 地域の持続的発展のための基本目標

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
1	全体人口	15,340人	—	14,043人	政策企画課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	総合振興計画や総合戦略の施策を進めるとともに、過疎対策事業債を活用し、過疎地域持続的発展計画に基づいた事業を実施した。（全体人口の実績は、国勢調査人口による）	総合振興計画や総合戦略、過疎地域持続的発展計画に基づいた事業を実施し、持続可能な地域づくりに取り組む。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
2	社会増減数	△110人	△99人	0人	住民課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	外国人留学生や外国人技能実習制度に基づく事業者があるため、外国人の転入・転出が、コロナ過の影響で減少しているが、日本人・外国人とも、転入者よりも転出者が多く、人口は減少傾向にある。	総合振興計画や総合戦略、過疎地域持続的発展計画に基づいた事業を実施し、持続可能な地域づくりに取り組む。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
3	年間出生数	34人	43人	39人	住民課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	出生者数は平成26年度から減少傾向にあったが、令和3年度は9人増加した。また、依然として出生者数より死亡者数が上回っているが、死亡数も減少傾向にあり、自然動態も減少している。	子ども・子育て支援事業計画や第2期総合戦略に基づき、子育てしやすい環境を作るための支援事業等を実施していくことにより、現状維持に取り組む。			

2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
4	新築マイホーム取得助成金支給件数（累計）	21件	24件	54件	政策企画課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	新築マイホーム取得助成金として、町内に住宅を新築、建て替え、または建売住宅を購入した者に対し新築マイホーム取得助成金を交付し、また、子育て世帯及びテレワークを行う世帯に対しては助成金の上乗せを行った。	助成金制度について、引き続き広報紙やホームページにより周知を図る。また、助成金制度単体ではなく、他の移住定住促進策と合わせ、効果的な情報発信を行うことで、移住定住促進を図り、助成件数の増加にもつなげていく。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
5	移住施策を通じて移住した人数	30人	47人	70人	政策企画課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	茨城県内の市町村からの移住者、茨城県外からの移住者ともに増加している。また、テレワーク等が普及したこともあり、コワーキングスペースを整備し、PR動画等による情報発信を実施した。	令和3年度に移住定住PR動画を制作するとともに、移住定住促進のホームページを整備した。今後は、これらを活用したWEB広告等のPRを実施し、本町の認知度を向上させることで移住者の増加を図る。			

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	とねまち若者会議登録メンバー数	10人	14人	10人	まち未来創造課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
6	若者会議「とねまち未来ラボ」を発足し、今年度は、「座学」と「実践」を柱に、各地で先進的なまちづくり活動を行っている方々を講師に迎えてセミナー（座学）を開催した。また、実践的な取り組みとして、「空き店舗活用プロジェクト」を立ち上げ、町が整備するインキュベーション施設の活用方法の検討や、DIYワークショップを開催した。	若者世代を対象に、地域や商店街の活性化をテーマにグループワークや講演会等を実施し、若者がまちづくりを自分事として捉える機会を提供していくと共に、起業塾塾生にもメンバーになっていただき、メンバー数を増やしていく。			

3 産業の振興

（数値目標）

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	認定農業者数	28人	29人	37人	農業政策課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
7	利根町ががんばる農業者応援助成制度やその他の認定農業者制度の優遇措置等の周知等を行い、認定農業者数の増加を図った。	利根西部基盤整備事業及び利根南部基盤整備事業の経過により、担い手への農地集積が進むことから、認定農業者数の増加が見込まれる。農業経営改善計画書の作成指導や認定農業者制度の優遇措置の周知等を図る。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	6次産業商品化件数（累計）	1品	1品	2品	農業政策課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
8	事業化されているのは、餅、赤飯販売の1件のみだが、米粉を使った饅頭や、カボチャのスープ等も制作された。その他、パック米の販売が社会福祉協議会で令和3年度より開始された。	6次産業化の先進事例の調査や、研究に加え、6次産業化に取り組もうとする農業者等からの、相談や支援策を、県のサポートセンターとも、連携を図りながら、進めていく。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	創業支援対象者数	0人	6人	5人	農業政策課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
9	町内で起業・開業を目指している方を対象に、起業に必要な知識やスキルを習得するために「とねまち起業塾」を開催した。23名の応募の中から6名を選定し、全5回のプログラムを実施した。	今後も、起業塾を開催していくほか、商工会と連携し、経営、財務、販路開拓等についての個別相談指導やチャレンジショップ事業を実施し、創業支援対象数の増加を図る。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	チャレンジショップを利用する新規起業家等数（累計）	0人	0人	4人	まち未来創造課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
10	町で起業・創業を目指す方が本格的な創業に向けて、一定期間試験的に出店し、経営等を学ぶ場を提供するため、町内の空き店舗を町が借り上げて、チャレンジショップやインフォメーションセンター等、複合的な機能を有するインキュベーション施設の整備を行った。	ホームページやSNS、広報等で幅広く施設の周知を図ると共に、起業塾や地域・商店街の活性化をテーマにしたグループワーク、講演会等を開催し、チャレンジショップの利用につなげていく。			

4 地域における情報化

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	オープンデータの公開件数（累計）	3件	5件	14件	政策企画課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
11	令和3年4月1日現在で、3件のオープンデータを町ホームページに公開しており、令和3年9月27日に「児童生徒数」及び「学校一覧」を公開した。年間2〜3種のオープンデータの公開を目標に、オープンデータの取組を推進する。	国が示すオープンデータのデータセット基本編14種の公開を目指し、オープンデータの取組を推進する。現在未公開である「AED設置箇所一覧」等からオープンデータの取組を進める。			

5 交通施設の整備、交通手段の確保

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	道路維持管理工事延長	8,600m	11,100m	19,100m	建設課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
12	利根町内全域（109号線布川地内・1023号線羽根野地内・1329号線大房地内・102号線立木地内・2084号線八幡台地内・105号線早尾地内・209号線押戸地内）の舗装修繕工事を実施しました。	継続して事後保全型管理から予防保全型管理へ転換して道路施設の長寿命化を図っていきます。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	緊急車両の通行できない生活道路の整備延長	—	—	530m	建設課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
13	1234号線（立木地内）の拡幅改良工事を実施していたが、電柱の移設に日数を要したため、予算繰越して工事を実施中。	令和4年度工事完了予定です。今後も緊急性や重要性の高い区間から計画的な整備・改良を推進し、安心して通行できる道路環境をつくります。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	一級町道の改良工事延長	180m	180m	570m	建設課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
14	112号線（立木地内）の拡幅改良工事を実施していたが、信号機の移設工事に遅れが生じたため、予算繰越して工事を実施した。	令和4年度工事完了予定です。今後も緊急性や重要性の高い区間から計画的な整備・改良を推進し、安心して通行できる道路環境をつくります。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	ふれ愛タクシー利用者数（年間延べ人数）	6,362人	8,047人	7,002人	政策企画課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
15	新型コロナ臨時交付金を活用し実施した、ふれ愛タクシー利用促進事業により、令和3年度は利用者数が一時的に増加し、登録者数は昨年度と比較すると大幅な増加が見られた。また、昨年8月に実施した公共交通アンケートにおいて、要望が多かったJAとりで総合医療センターへの乗り入れを令和4年7月から開始する。	JAとりで総合医療センターへ乗り入れ開始の周知を図るとともに、利用方法を引き続き案内するなど、利用促進を図り新規登録者数の増加を目指す。また、利用者アンケートを実施し、課題や要望を把握することにより利便性の向上を図る。			

6 生活環境の整備

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
16	給水普及率の向上	97.8%	97.8%	97.7%	生活環境課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	普及率は上水道の整備がされている地域における住民の上水道加入率を示すものである。人口減による加入者の頭打ちにより普及率にそれほど変化はない。	茨城県南水道企業団による水道に加入してもらうよう加入の促進を行っている。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
17	水洗化率の向上	97.3%	97.3%	98.1%	生活環境課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	水洗化率とは下水道の整備がされている地域における住民の下水接続率を示すものである。浄化槽、汲取りを廃止しての下水接続等により安定して微増傾向にある。	未接続の町民へ向けて、下水接続のメリットを広報等で周知していく。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
18	「避難行動要支援者登録制度」協力地区数	9地区	10地区	19地区	福祉課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	避難行動要支援者登録制度について、区長会総会にて説明を行い、制度への理解と協力を求め、新たに1地区の協力地区を確保することができました。	毎年開催される区長会総会において、避難行動要支援者登録制度の理解と地区の協力を求め、災害時に共助として、要支援者が地区や隣近所の支援により速やかに避難行動できる安心した生活を確保するため協力地区の増加に努めます。			

7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
19	地域子育て支援センター年間利用児童登録率	48.3%	43.8%	63.0%	子育て支援課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	未就園児がいる家庭を対象に、各種活動を通して、子育て世帯への身近な存在として、子育て支援をしている。実績については、出生数の減少や就労する保護者が増えていることから未就園児自体が減少していること、また新型コロナウイルス感染症の影響から、登録者数が減少傾向にあると考えられる。	地域の子育て支援拠点として、子育てについての相談、情報の提供、助言を行う窓口として事業を継続実施していただくように、文間保育園と連携し実施していく。また、活動内容を広報とねや役場庁舎内に掲示のほか、窓口での案内や保健福祉センターで行われる事業の際にお誘いするなど、関係機関で連携して周知を図り、利用者を増やす活動をしていく。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
20	乳幼児健診受診率	94.3%	97.7%	98.0%	保健福祉センター
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	集団による乳幼児健診(3.4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診)および相談事業(6~7か月児相談)、医療機関健診(9~11か月児健診)を実施した。町で実施する集団健診の受診率は、月遅れの健診も実施していることから100%に近いが、医療機関で実施する乳児(9~11か月児)健診は、集団健診と比較すると受診率が低い状況にある。	集団による乳幼児健診は、高い受診率を維持できているため、継続して個別通知や電話等により、受診勧奨に努めていく。特に乳児(9~11か月児)の医療機関健診の受診率向上のために、効果的な受診勧奨(相談時・個別連絡)を行う。また、町内の医療機関で受診できるよう周知するとともに、体制を整えていく。			

21	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	高齢者の移動販売車利用人数（年間延べ人数）	2,131人	2,009人	4,262人	福祉課
	進捗状況と分析				
	毎週火曜日、木曜日に町内計33カ所を移動販売車が巡回し、買い物の機会を提供しています。令和2年度は新車両の導入があり、町民の注目を集めましたが、令和3年度は新たな魅力を打ち出すことができず、微減となりました。運行日数の増加を望む声が絶えないことから、運行日数増加が求められます。	令和4年度からの販売元をプロポーザル方式で選定し、株式会社カスミに決定しました。これに伴い、運行回数が週5日に増便し、取扱品目の幅が広がることが決まりました。			
22	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	フリフリグッパ体操参加者数（年間延べ人数）	538人	657人	2,040人	保健福祉センター
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	認知症予防対策を目的として、平成14年からフリフリ地区運動集会を、町内3つの公共施設を会場として月に6回実施しました。広報とねに毎月記事を掲載しフリフリグッパ体操の周知啓発を行っている。令和2年度に引き続き3年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、長期の休止や集会の人数制限等を行ったことにより参加者の人数は、コロナ禍以前の令和元年度よりは減少しました。	新型コロナウイルス感染症対策として、運動集会の参加回数を制限、会場の環境整備、参加者の健康管理などきめ細やかな対策をし、安心・安全を第一として運動集会を実施していく。引き続き、認知症予防対策としてフリフリグッパ体操の効果を周知し、地区運動集会への参加に繋げていく。			
23	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	シルバーリハビリ体操参加者数（年間延べ人数）	6,279人	5,505人	15,500人	保健福祉センター
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	利根町リハビリ体操指導士の会が主体となって、町内17カ所で年間通じて教室を行っている。令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、長期の休止や教室の人数制限等を行ったことにより参加者の人数が減少した。	新型コロナウイルス感染症対策として、会場の環境整備、参加者の健康管理など、きめ細やかな対策をし、安心・安全を第一に教室を実施していく。体操を普及するボランティア（シルバーリハビリ体操指導士）を毎年養成することを目標にし、シルバーリハビリ体操が続けられる体制を支援していく。			
24	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	がん検診推進事業対象者の受診率 大腸がん （対象者：国民健康保険被保険者）	12.7%	13.7%	15.0%	保健福祉センター
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	がん検診とセットで受診する体制とし、希望者へ検体容器を送付するなど、受診しやすい環境整備を行った。また、R3年度は対象者のうち、ターゲットを絞り受診勧奨通知により個別の受診勧奨を実施した。	新型コロナウイルス感染防止対策や受診しやすい環境を整備し、ターゲットをしぼった個別の受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組んでいく。			
25	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	がん検診推進事業対象者の受診率 乳がん （対象者：国民健康保険被保険者）	11.0%	7.0%	17.0%	保健福祉センター
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	個別医療機関検診は年間を通して受診できる体制を整え、集団検診としてはレディース検診（子宮がん・乳がん同日で検診）を実施。また、前年度受診歴のある方へ受診券の送付や40歳の方への無料受診券の発行を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、受診控えが起きていたことが考えら減少している。	新型コロナウイルス感染防止対策や受診しやすい環境を整備し、ターゲットをしぼった個別の受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組んでいく。			

8 医療の確保

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	夜間・救急医療機関の体制維持	8病院	8病院	8病院	保健福祉センター
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
26	利根町・取手市・守谷市・つくばみらい市・常総市の5市町で連携をとり、取手北相馬休日夜間緊急診療所運営・常総地域病院群輪番制病院運営・常総地域小児救急医療輪番制病院運営の各救急医療体制を確保することで、医療機関ネットワークを引き続き維持しました。	5市町での連携を一層密にし、休日でも夜間でも安心して医療が受けられる救急医療体制を維持していきます。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	国保診療所医師の確保（常勤医師を含む）	3名	3名	3名	国保診療所
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
27	医師確保が厳しい状況の中、筑波大学と協力・連携し、利根町に地域医療教育ステーションを設置することで、優秀な指導医及び若手研修医が安定的に国保診療所へ派遣され、充実した医療体制を確保することができた。	医師の確保により、医療体制・在宅医療の充実を図ることができ、今後も協力・連携を継続し、若手医師の人材育成にも貢献していきたい。			

9 教育の振興

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	スクールソーシャルワーカーの相談において、 事案が解決又は収束した割合	57.0%	65.0%	90.0%	指導課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
28	児童生徒に関する課題等の解決に向けた支援・改善を目的に、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）が専門的な知識、技能を活用し、問題解決に取り組んだ。問題行動等についても、ＳＳＷが積極的に関わることで、早期対応、早期解決や未然防止につながっている。実績からもＳＳＷの専門的な立場からの助言は、児童・生徒の抱える悩みや問題を解決する上で効果的であると思われる。	ＳＳＷの役割を児童生徒に周知し、必要としている児童生徒が気軽に相談しやすい体制作りをすること。また、ＳＳＷとの面談が必要だと感じられる児童生徒がいる場合には、学校のコーディネーターが積極的に児童生徒とＳＳＷをつなぐことができる体制作りをすることが求められる。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	適応指導教室通級児童生徒の学校復帰割合	22.2%	16.7%	50.0%	指導課
	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
29	適応指導教室「とねっ子ひろば」は図書館２階に開設されており、指導員３名及び指導課指導主事１名、合計４名で不登校児童生徒の対応を行っている。具体的には、児童生徒及び保護者との学習相談やカウンセリングを実施したり、生徒指導主事及び担任等と情報共有の連携を行ったりして、学校復帰に向けた支援を実施している。令和３年度は１２名の児童生徒が利用し、不登校児童生徒の居場所として効果を発揮している。	通室生のニーズを把握した上でより一層きめ細やかな支援を行っていく。また、一人一人の児童生徒の課題に合わせ、学校復帰に向けた学習指導や教育相談の充実を図って行っていくこととする。 ただし、適応指導教室は不登校児童生徒の居場所を作り、教育の機会の確保するための場所であるため、学校復帰の割合の大小で成果を見とることは難しいと考える。			

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	「利根町やその周辺の歴史講座」受講者数	47人	38人	80人	生涯学習課
30	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	令和3年度は2講座開催し、利根町にゆかりある歴史を学ぶ機会を提供することができた。開催回数は、通算18回を予定していたが、コロナ禍等により12回の開催となった。また、密を避けるため募集人数を減らしました。	今後、様々な広報媒体を利用し住民への周知を図る。幅広い年代が参加しやすいよう、講座の開催曜日も考慮しながら参加者の増加を目指し、利根町や周辺の歴史を学ぶ機会を設ける。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	図書館利用者1人当たりの貸出冊数	4.16冊	4.60冊	5冊	生涯学習課
31	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	前年より、1人あたりの貸出冊数が増えました。令和2年12月から新型コロナウイルス感染症対策として、図書の貸出冊数を15冊に増やし、貸出期間を3週間に延ばしたことが周知され、利用の増加につながったものと思われます。	今後も資料の充実を図ると共に、より良い読書環境の整備に努めます。			

10 集落の整備

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	空き家全体のうち適正に管理されている空き家の割合 (店舗、長屋、共同住宅は除く)	86%	71%	90%	生活環境課
32	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	町内空き家調査の結果、空き家が437戸に対して、適正に管理されていたのが307戸であった。R2年より適正管理の割合が減少した理由としては、空き家の増加によるものである。	R4年度には、所有者へ空き家に対するアンケートを実施。アンケート結果を踏まえて、適正管理件数の増加につなげる取組を検討する。また、状態の良い空き家については、空き家バンクの周知をすることで、空き家解消を図る。			
	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	空き家バンク物件成約件数(累計)	65件	69件	85件	生活環境課
33	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	全国版空き家バンクサイトに掲載すると1件の物件に対して3件以上の問合せがあり、購入者の要望に沿った物件が多く成約につながった。	引き続き、固定資産税納税通知にチラシの同封やホームページ等を活用して登録件数の増加を図る。また、助成金の周知により成約件数につなげる。			

11 地域文化の振興等

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	歴史民俗資料館の来館者数(年間延べ人数)	309人	309人	600人	生涯学習課
34	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言の発令や、まん延防止等重点措置に伴う施設休館のため、年間開館日数が139日と少なかったため来館者数が伸びなかった。	施設のPRや、展示物の定期的な変更、また企画展の開催などを行い資料館の来館者数を増やしていきたい、			

12 再生可能エネルギーの利用の促進

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	太陽光発電システム設置費補助金交付件数	7件	5件	20件	生活環境課
35	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	太陽光発電システムの設置における設備導入コストと、売電価格減額の兼ね合い等の理由により、事業を実施する者が少なく、現状実績の伸び悩みがある。	引き続き、広報やホームページを活用した制度の周知を図り、再生可能エネルギーの利用促進につなげる。			

13 その他地域の持続的発展に関し必要な事項

(数値目標)

	数値目標	R2実績	R3実績	R7目標	担当課
	町行政アプリのダウンロード件数（累計）	—	1,092件	3,000件	総務課
36	進捗状況と分析	目標達成に向けた今後の取組			
	アプリの公開時期に合わせ、広報紙やホームページにより行政アプリのインストール方法を案内したことで、令和3年度末ではダウンロード数は1,092件となっています。	新たにインストールするきっかけとなるよう、町イベントや定期的な広報を通して行政アプリの周知を行っていきます。			